

# 丁張マイスター

## 誰でも簡単工事測量

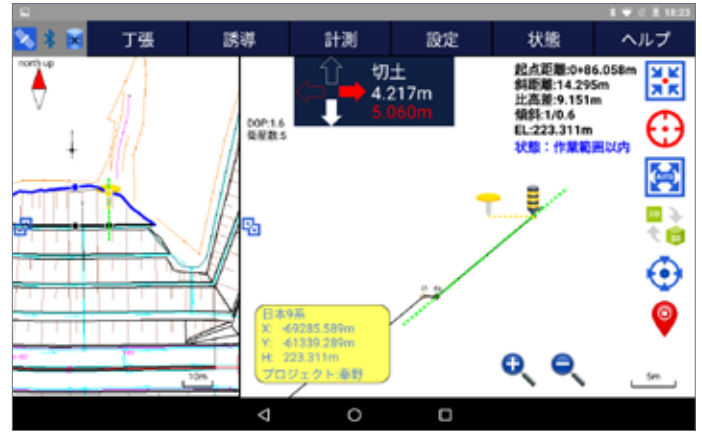
- 3次元設計データに対応
- LandXML対応
- 出来形確認の簡素化
- Leica iCON gps 70T対応
- ポールは傾いてもOK
- ケーブルレス
- Android OS
- お求め安い価格を実現

土木工事において、丁張がなくなることはありませんが、丁張を掛けられる技術者は少なくなりました。その一方で、i-Constructionが普及し、現場での3Dデータの利用はますます増えています。丁張マイスターで3Dデータを活用すれば、工事測量や出来形管理の品質向上と効率化を実現できます。

丁張マイスターは、Leica iCON gps 70Tに対応、今までの様にポールを水平にする必要がありません。斜面や足場の悪い場所でiCON gps 70TのIMU(慣性計測装置)機能をお試してください。きっと今までにない測量を体感できることでしょう。一般的なスマートアンテナに比べて観測時間は1/5以下、工事の手待ち時間を無くします。

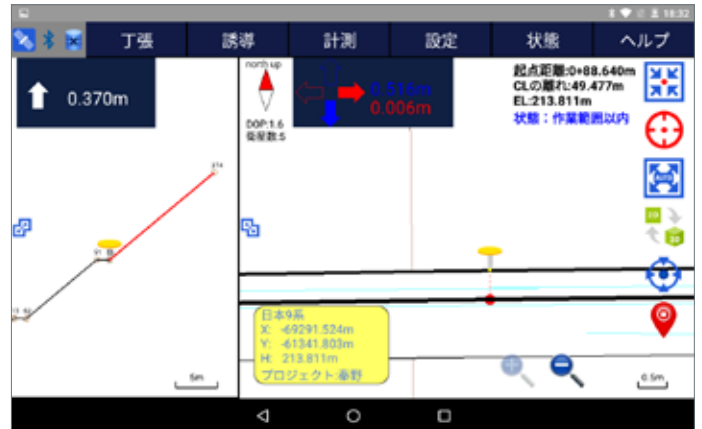
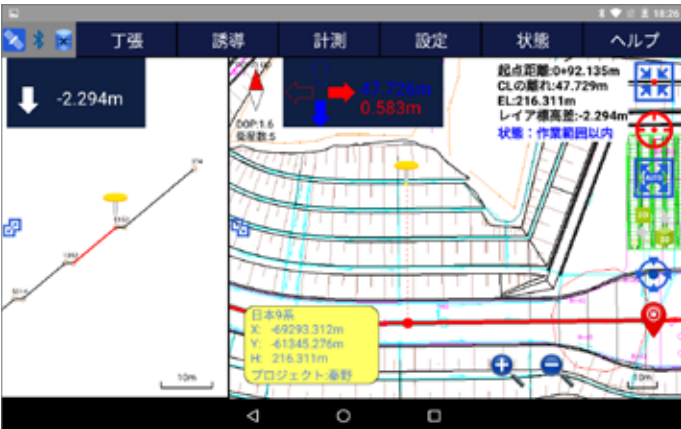


丁張マイスターは、Android OSのPanasonicタブパッドで動く、丁張作業専用ソフトウェアです。Leica Geosystemsの最新鋭GNSS受信機、iCON gps 70Tとケーブルレスで接続して使用します。



xmlデータはもちろん、3Dポリラインデータでも作業が可能です。道路センター以外にも指定したラインを基準に出来ます。複合線形があるインターチェンジや盛土の巻込み部、そして線形を基準にしない造成工事など1つのデータで一元管理を行うことができます。

任意測点でも常に設計と地山の交点へと誘導します。作業員は誘導距離が0になる場所を探すだけで計算は全く不要。画面は平面図、横断図の2画面表示で自位置が瞬時に分かります。必要な情報は画面右上に表示され常にリアルタイムで情報が更新されます。



トンボ丁張機能では、設計データ内のいかなる場所でも切盛り差を求めることができます。応用すれば「岩線測量」にも使用出来ます。任意の箇所での「測点」「CL離れ」「標高」を表示し、記録します。立会を行う時には時間の省力化が図れます。

ライン測定では、指定したラインに対して連続的な誘導を行います。例えば、法尻確認では「位置」「高さの差」が表示されますので、その場で瞬時に確認が出来ます。また、オフセット値を入力すれば構造物の位置出しにも使用できます。

Leica iCON gps 70T



iCON gps 70Tを使用すれば、従来のようにポールを垂直に保ち気泡を気に掛けることもなく、迅速に計測や杭打ちを行うことができます。最新のGNSSテクノロジーと慣性計測装置(IMU)を組み合わせることでiCON gps 70Tは恒常的に傾斜補正ができるようになりました。較正の必要はなくなり、どんな電磁障害にも影響を受けることはありません。iCON gps 70Tの詳細は、右のデータシートおよびカタログを参照してください。

